

第6部

経済・産業

第1章 経済成長率・県内総生産

- 92 経済成長率
- 93 県内総生産(名目・実質)
- 94 1人当たり県(国)民所得
- 95 1人当たり県(国)民所得の構成割合
- 96 県民雇用者報酬と県内・県外比率

第2章 事業所・従業者数

- 97 産業別事業所数
- 98 産業別従業者数
- 99 工場・研究所の立地件数
- 100 事業所数と従業者数
- 102 産業別(1次・2次・3次)就業者数

第3章 労働

- 104 男女・年齢別就業率
- 105 高等学校卒業者の県内就職率
- 106 県外就業率
- 108 就業地別有効求人倍率
- 109 外国人労働者数、外国人を雇用する事業所数
- 110 労働時間(事業所規模5人以上)
- 111 賃金(事業所規模5人以上)
- 112 パートタイム労働者比率(事業所規模5人以上)

第4章 工業

- 113 製造業の従業者規模別事業所数、従業者数、製造品出荷額等(全事業所)
- 114 製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移
- 116 製造業の産業中分類別事業所数、従業者数(全事業所)
- 117 産業中分類別製造品出荷額等(全事業所)

- 118 1事業所当たり製造品出荷額等(全事業所)
- 119 従業者1人当たり製造品出荷額等(全事業所)
- 120 品目別出荷額等の全国シェア(全事業所)
- 121 従業者1人当たりの付加価値額(全事業所)

第5章 商業

- 122 商業(卸・小売業別)事業所数、従業者数、年間商品販売額の割合
- 124 県民1人当たり年間商品販売額(小売業)
- 125 事業所数、従業者数、年間商品販売額(小売業)
- 126 産業小分類別の年間商品販売額
- 128 事業所数、従業者数、年間商品販売額(卸売業)

第6章 観光

- 129 観光客数
- 130 観光消費額
- 131 年間宿泊者数
- 132 月別宿泊者数
- 133 外国人訪問客数
- 134 外国人宿泊者数
- 135 旅館・ホテル客室数
- 136 国際会議開催件数

第7章 農業・水産・畜産業

- 137 農家数
- 138 認定農業者数
- 139 耕地面積
- 140 荒廃農地面積
- 141 農業産出額
- 142 主要家畜飼育頭羽数
- 143 協定直売所「地の味 土の香」
- 144 県内養殖生産額と総漁獲量

第8章 林業

- 145 森林面積及び森林蓄積
- 146 市町村別森林面積
- 147 主要部門別素材生産量
- 148 間伐面積



農家数

農家数は5年間で14.2%減少



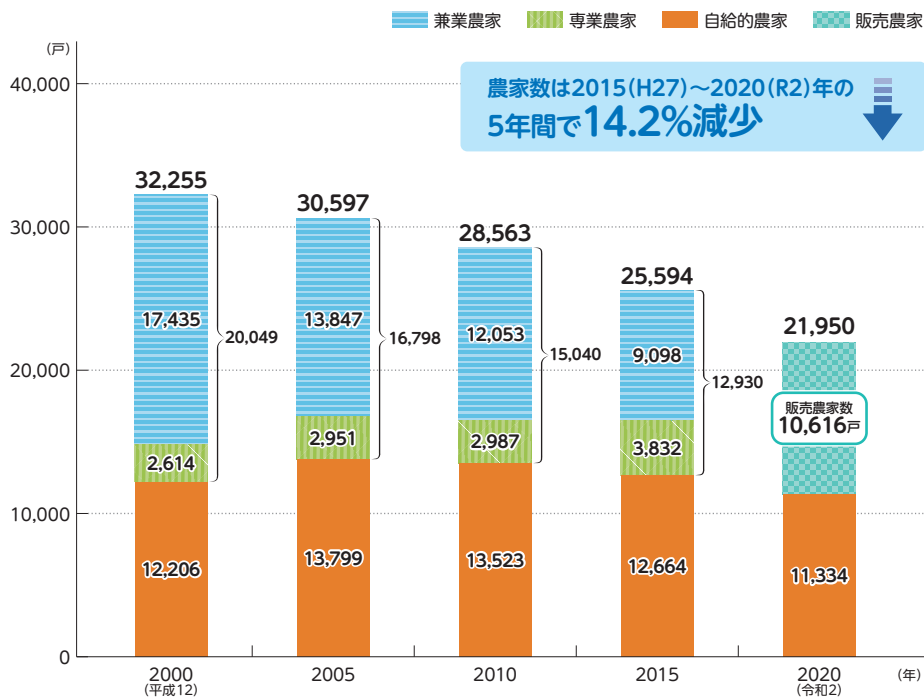
2020(R2)年2月1日現在の農家数は2万1,950戸で、2015(H27)年と比べ3,644戸、14.2%減少しました。

販売農家は1万616戸(総農家に占める割合48.4%)で、2015(H27)年の1万2,930戸より17.9%減少しました。また、自給的農家は1万1,334戸(同51.6%)で、2015(H27)年の1万2,664戸より10.5%減少しました。

- **農家**…経営耕地面積が10a以上又は農産物販売金額が年間15万円以上の世帯。
- **販売農家**…経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が年間50万円以上の農家。
(専業農家＋兼業農家)
 - ・専業農家…世帯員の中に兼業従事者が1人もいない農家。
 - ・兼業農家…世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる農家。
- ※ 2020年農林業センサスから、専業及び兼業農家の調査項目が削除となったため、販売農家のみの数値を掲載している。
- **自給的農家**…経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家。

農家数の推移

資料：農林水産省「農林業センサス」





認定農業者数

認定農業者数は毎年1,000人前後で推移してきたが減少傾向

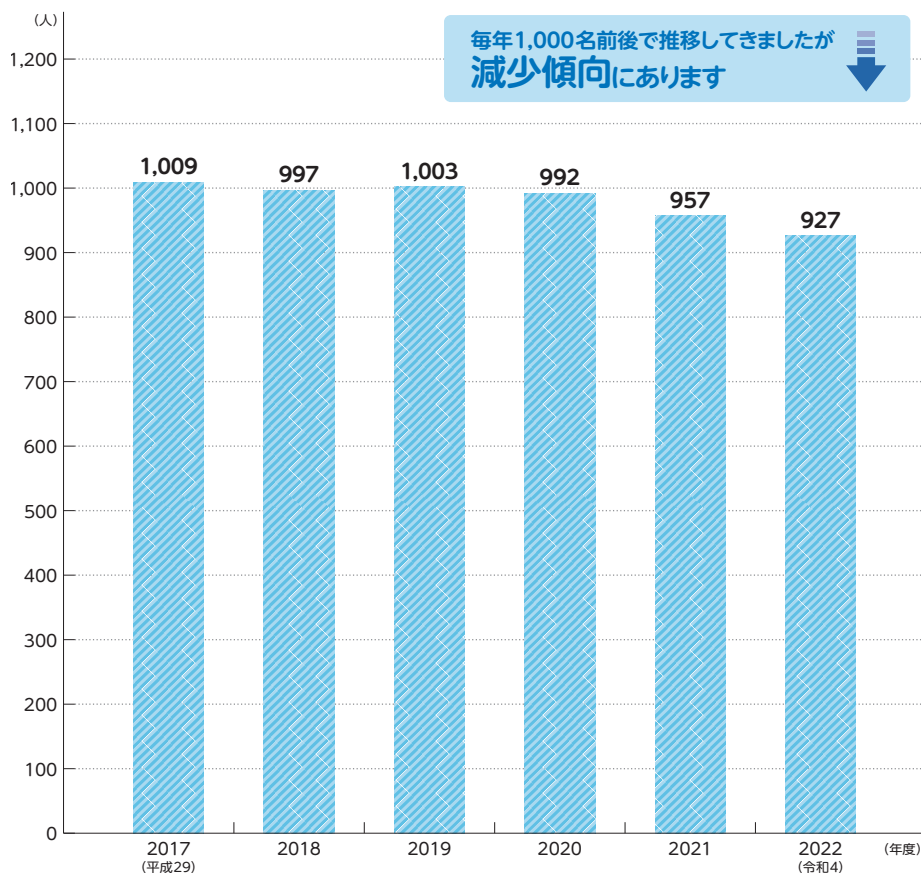


2022(R4)年度における県内の認定農業者数は927人であり、前年と比べて30人減少しています。

5年後の農業経営の目標と取り組み内容を記載する「農業経営改善計画」を作成し、市町村、県又は国が認定した農業経営者を「認定農業者」と呼んでいます。県では、認定農業者に対して農業経営改善計画の目標達成に向けた支援や指導等を行っています。

認定農業者数の推移

資料：県担い手・農地マネジメント課





耕地面積

耕地面積は5年前に比べ7.3%減少

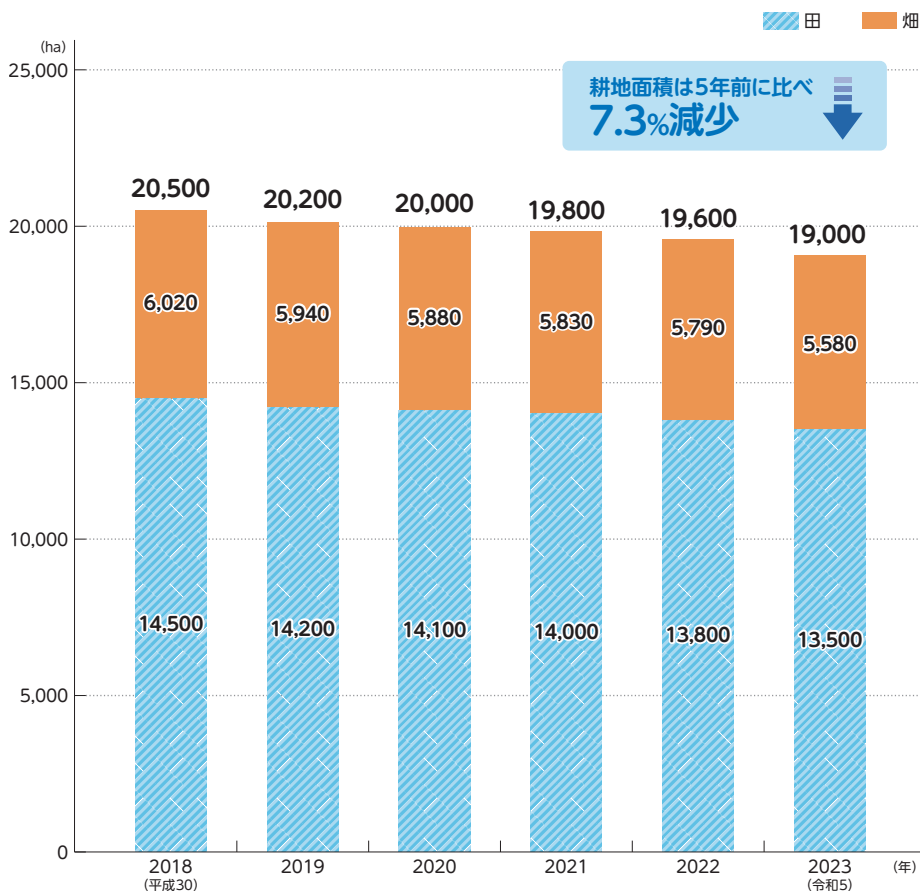


2023(R5)年の耕地面積は1万9,000haで、5年前の2018(H30)年と比べ1,500ha(7.3%)減少しました。

2023(R5)年の耕地面積1万9,000haのうち、田は1万3,500ha(71.1%)、畑は5,580ha(29.4%)となっています。2018(H30)年に比べ、田は1,000ha(6.9%)減少し、畑は440ha(7.3%)減少しました。

耕地面積の推移

資料：農林水産省「作物統計」



※ 四捨五入の関係で、合計と内訳が一致しない。



荒廃農地面積

荒廃農地面積は、5年前に比べ27.8%増加



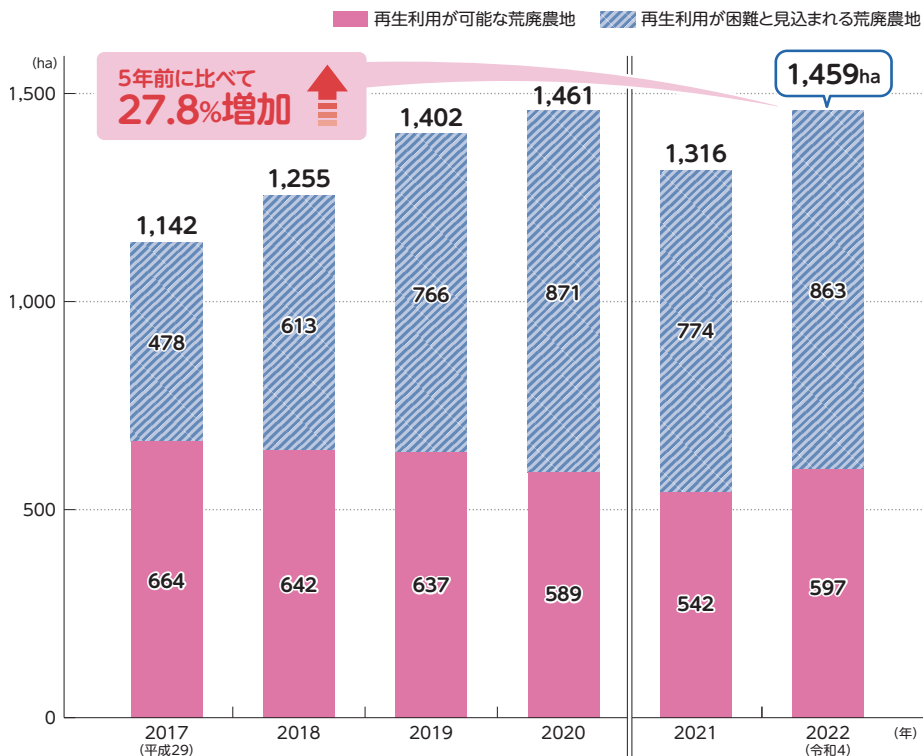
2022(R4)年の荒廃農地面積は、1,459haで、5年前の2017(H29)年と比べ317ha(27.8%)増加しました。

2022(R4)年の荒廃農地面積1,459haのうち、再生利用が可能な荒廃農地は597ha(40.9%)、再生利用が困難と見込まれる荒廃農地は863ha(59.2%)となっています。再生利用が可能な荒廃農地は2017(H29)年に比べ、67ha(10.1%)減少し、再生利用が困難と見込まれる荒廃農地は385ha(80.5%)増加しました。

●**荒廃農地**…現に耕作されておらず、耕作の放棄により荒廃し、通常の農作業では作物の栽培が客観的に不可能となっている農地。

荒廃農地面積の推移

資料：農林水産省「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」



※1 四捨五入の関係で、計が一致しない場合がある

※2 2021(R3)年以降の数値については、ドローン等の導入等による調査精度の向上等の影響により特に再生利用が困難と見込まれる荒廃農地が減少したため、2020(R2)年度までとの合計値の単純比較はできない。



農業産出額

農業産出額は390億円で、全国45位



2022(R4)年の農業産出額は、390億円(全国45位)で、2017(H29)年と比較して40億円(9.3%)減少しました。

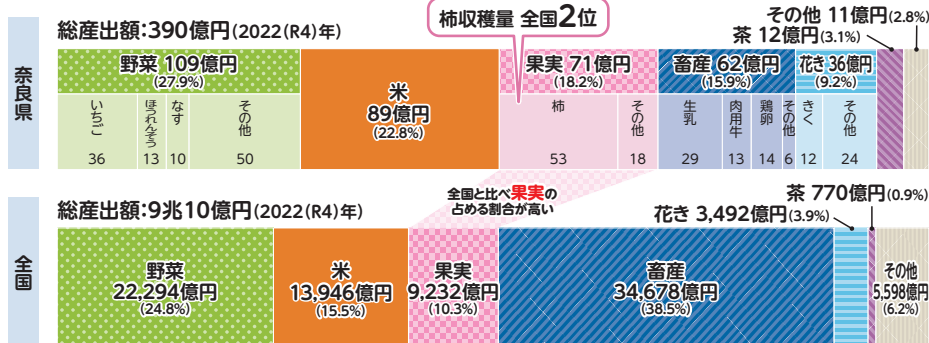
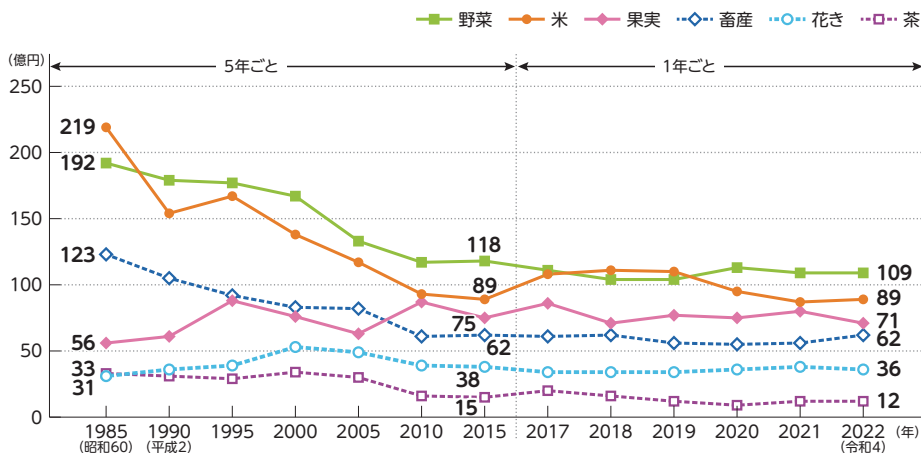
2022(R4)年の農業産出額を部門別にみると野菜(109億円)、米(89億円)、果実(71億円)、畜産(62億円)、花き(36億円)、茶(12億円)の順となっています。

品目別では、柿(53億円)、いちご(36億円)、生乳(29億円)、ほうれんそう(13億円)となっています。なかでも柿の収穫量は全国2位、ダリア球根、二輪ギク、小ギク(夏秋期)の生産量は全国1位となっています。

●農業産出額…(品目別生産量×品目別農家庭先販売価格)の合計

農業産出額の推移

資料：農林水産省「生産農業所得統計」





主要家畜飼育頭羽数

主要家畜飼育頭羽数は減少傾向



2023(R5)年における主要家畜飼育頭羽数は乳用牛が2,941頭、肉用牛が4,322頭、豚が3,497頭、採卵鶏が30万9,500羽、肉用鶏が6万5,309羽となっています。

2023(R5)年の主要家畜飼育頭羽数を2018(H30)年と比較すると、乳用牛は247頭(▲7.7%)、豚は2,409頭(▲40.8%)減少し、肉用牛は324頭(8.1%)増加しました。

また、採卵鶏は14万1,824羽(▲31.4%)減少し、肉用鶏は4,357羽(11.3%)増加しました。

主要家畜飼育頭数の推移

資料：県畜産課「奈良県家畜さん規模別戸数および飼養頭羽数」



協定直売所「^ち地の味 ^{あじ}土の香^{つち}」協定直売所「^ち地の味 ^{あじ}土の香^{つち}」の売上額は、前年度より増加

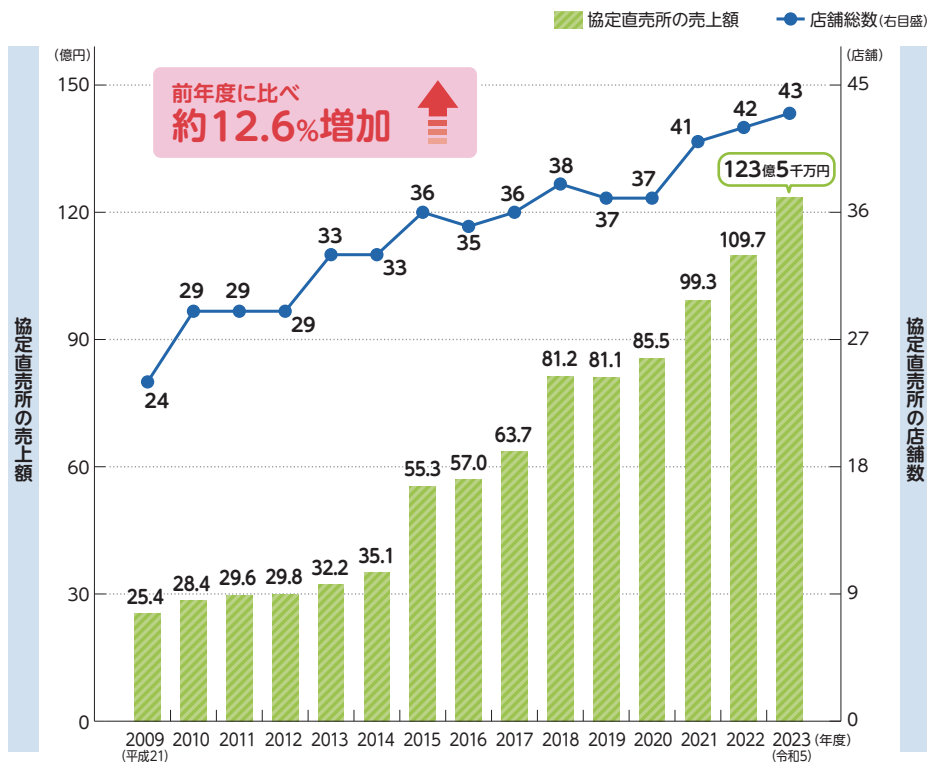
協定直売所「^ち地の味 ^{あじ}土の香^{つち}」の売上額は、2022(R4)年度 109億7千万円から、2023(R5)年度 123億5千万円となり、約12.6%増加しています。

協定直売所数は、43店舗となりました。協定直売所と県は、協働で農産物直売所のブランド化や、直売所を拠点とした地域活性化に取り組んでいます。

- 「^ち地の味 ^{あじ}土の香^{つち}」とは…安全・安心でおいしい県産農産物と、大和伝統の味、こだわりの食文化をお届けすることを目的として、県と協定を交わした県内の農産物直売所のネットワークブランドのこと。(平成20年発足)

協定直売所の店舗数および売上額の推移

資料：県豊かな食と農の振興課「農産物直売所運営に関する調査」



※奈良県内の「^ち地の味 ^{あじ}土の香^{つち}」直売所一覧は、右記のサイトをご参照ください。





県内養殖生産額と総漁獲量

2023(R5)年は、養殖生産額が増加、総漁獲量は減少



養殖生産額は、2019(R1)年の水準に回復しました。

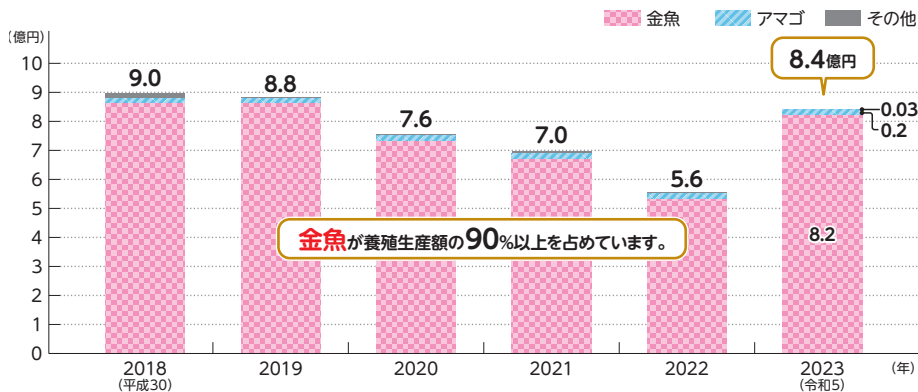
総漁獲量は、前年に比べわずかに減少したものの、増加傾向です。

2023(R5)年の養殖生産額を魚種別に見ると、金魚(8.2億円)、アマゴ(0.2億円)の順となっています。

2023(R5)年の総漁獲量を魚種別に見ると、アユ(43t)、アマゴ(28t)、フナ(47t)、ワカサギ(2t)、ニジマス(1t)となっています。

養殖生産額

資料：県農業水産振興課



総漁獲量

資料：県農業水産振興課

